

文芸 六ふたせ

俳句

【桜川市岩瀬俳句会】

竹山に赤く色どる実南天 入山 ひろ子

年の暮れ路地裏明かり人の声 三代 みちよ

星月夜高層ビルに雲の影 渡部 千恵子

独り居に門限のなき月の道 細谷 充女

今朝も来て去年の鵲のあいさつす 小林 啓治

【茂山俳句会】

句を愛し菊を愛して我が余生 松崎 いま

未枯れてはや灯の点る隠居かな 笠倉 陽子

冬銀河錆し鉄路の駅舎跡 渡部 千恵子

鹽ほどの夕日枯木に透けて見ゆ 皆川 一女

筑波嶺の影の近付く蓮根堀 宮本 立男

寸鉄も帯びぬわが身の冬に入る 飯山 昭

酒を酌む五百羅漢や冬温し 今井 繁子

鯽かまを突き合ふ夫あればこそ 吉原 京子

影ふみの動かぬ鬼に木の実降る 君島 真理子

つつぬけの風がとまどふ未枯る 吉原 秀子

人気なき峡の夕暮れ未枯る、 大関 くに

ちよつといい話拾ひし小春道 鈴木 ノブ子

未枯れて納屋の引戸も閉じ仕舞 海老沢 幸子

すれ違ふ人のぬくもり小六月 鈴木 つぎ

北風吹けば夫の面影濃かりけり 宮本 芳江

オリオンを仰ぎ見あげし遠き日よ 植竹 ふみ

暫くは紅葉被ひの寝釈迦山(伊豆) 海老沢 静夫

それぞれの己の色に紅葉づる 竹林 てる

寒村の道に迷ふや福来みかん 金子 弘毅

山探し芒はしらじら紅葉濃き 塚本 ゆき子

短歌

【岩瀬短歌会】

筑波嶺を目指しぐんぐん迫る雲敵機に見えて
カーテンを引く 大関 にち子

おでんの具たまごを食す箸の順わたしは最初
に妻は最後に 泉 三郎

朝まだき庭に出ずれば遥かなる轍の音に故郷
思う 飯田 良江

花々の日毎に衰え目立ち来て陽の射す庭に蜻
蛉飛び交う 山田 しげの

人命を断つ者この世に多かれど因なる事由を
断つこと叶はじ 鈴木 英雄

金砂郷の辻に建つ石彫に田楽舞の種子まき
もあり 広沢 日出子

古賀メロディーなべて三拍子さみしさを募ら
す夜のトレモロは嫌ひ 小林 美瑛子

寡黙なる夫の口数多くなる息子家族を交える
夕餉 渡辺 しな子

尉鶉つかのまなれど梅枝に鳴きて遊べり今日
の珍客 瀧井 幸子

道の辺に咲きたる草花愛おしく数多摘みきて
籠に活けたり 久保 悦子

たらちねの母には一度もなさざりと金谷ホテ
ルの湯に浸りつつ 萩原 きしの

穂芒は夕の陽受けて銀に光りつつ早や暮れな
んとす 古賀 澄

雨止みてわが里山はやわらかく緑の中にそつ
と目を閉す 浅賀 順子

灼熱の陽のさめやらぬ散歩道歩く裾より熱気
入り来る 榎戸 正江

田を作る苦勞ばなしと年間の飯米三俵届く
十月 石田 守子

目標を掲げひたすら努力するリオ五輪からわ
れは学びぬ 浜野和 操

母親にねだりし服を思わせて庭に咲きおり
真つ赤な鶏頭 大久保 富美江



あなたの側で、
誠実に、忠実に。

株式会社 デジタル印刷
TEL 0296-54-2626 (代)
FAX 0296-54-2724

www.digital-54-2626.com

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

- サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
- 掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
- ※連続掲載で割引制度があります。

■問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268